

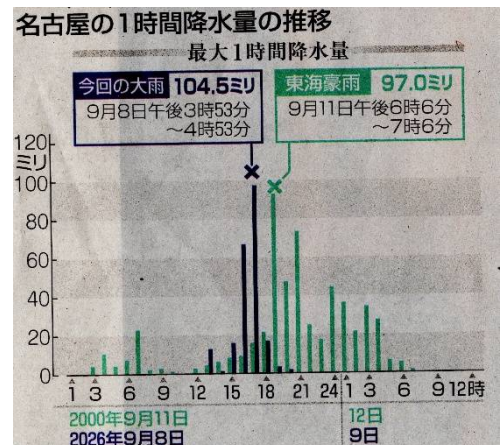
2026 年 9 月 8 日の大雨に関する検証報告

松河戸区長 長谷川 浩

1 当日の雨の状況

9 月 8 日午後 4 時頃、春日井市で 93.5mm/h を記録し、東海豪雨(88.0mm/h)を上回る、過去に例のない大雨となりました。線状降水帯が発生し、短時間で通過したものの、市の想定雨量 63mm/h を大きく超えたため、雨水管の排水能力を上回り、雨水が管から溢れ、南部ポンプ場でも処理しきれず道路へ溢水しました。

春日井市の整備目標は 69.3mm/h(10 年確率降雨 63mm/h × 気候変動係数 1.1)です。



9 月 10 日 中日新聞から
今回は、大量の雨が短時間に降りました。

2 避難情報の発令状況

- ・ 16 時 17 分 地藏川 警戒レベル 4「避難指示」
- ・ 16 時 40 分 八田川 警戒レベル 4「避難指示」
- ・ 18 時 41 分 庄内川 警戒レベル 4「避難指示」
- ・ 22 時 56 分 庄内川 避難指示解除

また、18 時 20 分 に国(気象庁・国交省)より「庄内川・矢田川にレベル 5 氾濫特別警報」が発表されました。市の避難指示はレベル 4 ですが、国の警報はレベル 5 相当です。

庄内川の水位が「氾濫のおそれのある水位」に達したため、松河戸を含む広範囲で避難指示が発令されました。

松河戸区防災会では 18 時 45 分 に松河戸公民館へ「対策本部」を設置し、堤防の破堤・越水の恐れがなくなった 19 時 30 分 に本部を解除しました。(対策本部の設置は防災会として初めての対応)

区民の皆様には、避難所(小野小学校)への移動は危険と判断し、垂直避難をお願いしました。

3 被害状況

松河戸区内では 床下浸水の報告はありません。ただし、道風線調整池付近や松新線カーマ付近で道路冠水が発生し、最大 30～40cm の冠水が確認されました。

一方、地蔵川では越水が発生し、松新町・小野町などで床上浸水が確認されました（中部中学校で床上浸水）。また、区民の方が子どもを迎えに行く途中、冠水により車が水没し動かなくなる事例もありました。

4 松河戸地区の大雨被害分析

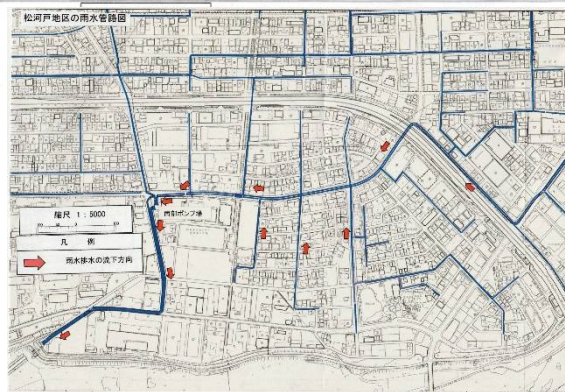
今回の大雨は非常に短時間であったため、南部ポンプ場の排水により水は比較的早く引きました。しかし、同規模の雨が長時間続いていた場合、重大な災害につながる可能性があります。

松河戸に降った雨は側溝から雨水管を通り南部ポンプ場へ流れ、庄内川へ排水されます。現在は上条地区の雨水も同じ雨水管系統を通して流入するため、上条側で大量の雨が降ると、松河戸側の雨水が雨水管に入りきれず溢れる可能性があります。

■松河戸地区の雨水



松河戸排水区
雨水排水の流下方向
春日井上下水道部



南部ポンプ場の排水能力は $29\text{m}^3/\text{s}$ ($104,400\text{m}^3/\text{h}$) であり、松河戸排水区(約 190～198ha)に対して 53～55mm/h 程度までなら排水可能です。整備目標の 69.3mm/h までは、調整池とポンプ場の組み合わせで住宅浸水を防げる設計です。

松河戸町内をとる雨水管
雨水排水の流下方向 春日井上下水道部

しかし今回の雨量 93.5mm/h は整備目標を 24.2mm/h 上回り、排水しきれなかった雨水が道路冠水を引き起こしました。

5 調整池の容量と課題

調整池は現在 8,000m³ で、令和 15 年に 16,000m³ へ拡張予定です。

しかし、近年増えている 100mm/h 級の集中豪雨では、松河戸排水区に降る雨水のうち 約 86,000～94,000m³/h が排水しきれず、調整池 16,000m³は 約 10～11 分で満水となる試算です。

満水後は道路や宅地に雨水が滞留し、内水氾濫のリスクが高まります。

さらに、庄内川下流で破堤・越水の恐れがある場合、国の指示で南部ポンプ場の運転が停止される可能性があり、その場合は排水が完全に止まり、浸水被害が急激に拡大する恐れがあります。

6 市・国への要望と私たちの備え

春日井市の整備目標を 69.3mm/h → 100mm/h に引き上げ、ポンプ場の能力強化と、庄内川下流域の堤防強化によりポンプ停止が起きない体制を整える必要があります。

ただし、整備目標の引き上げは既存の整備をやり直すこととなり、膨大な費用が必要です。

私たちが今できることは、

- 自分の住む地域の水害リスクを正しく理解する
- 松河戸沿いの堤防 2km が破堤しないことを願いながら
- 内水氾濫に対し、自助・共助で備える ことです。